

# やわらぎ歯科会通信

第 29 号

平成 15 年  
10 月 20 日号

編集発行人  
やわらぎ会  
歯科診療所  
藤田 和也  
編集者  
山下 剛史

## 歯のあるネズミと

### 歯のないネズミ



社会人大学院の試験に無事合格しました。受講する講義の申請を行わなければならないのですが、医学一般と精神医学を受講するつもりです。

水曜日と金曜日の夕方の診療を少し早く切り上げて、夜間の講義を受講していますが、頭が切り替わってなかなか楽しいものだと思いました。

早速ですが面白い講義がありましたので紹介します。

実験的に歯のないネズミを育てると歯のあるネズミと比較して脳の中に老人斑が多く見られ、これはアルツハイマー病(老年痴呆の一種)に良く見られるものと同じであるとの事でした。

同様に硬い餌で育てたネズミに比べ、粉の餌で育てたネズミも

脳の中に老人斑が多く見られたそうです。

この老人斑というのは脳の中の神経が使われないために、萎縮してしまったものだそうです。

これをすぐに人間に当てはめられるかどうかはわかりませんが、八十才で二十本以上歯が残っている人は、お医者さんにかかる割合が非常に少なく、元気な人が多いという調査結果を日本歯科医師会が報告しています。

このように歯は食べる事にも大切な役割をしているのみならず、全身の健康にも大切なものといえます。

やわらぎ歯科診療所では患者様が一生自分の歯やお口で食べられる事を念じております。



(藤田)

## かめるっち

☆まだ総入れ歯になりたくないのだけれど…

Q:歯周病がひどく、総入れ歯にしないで済む方法はありませんか？

A:確かに以前は、悪い歯はすぐに抜いて入れ歯にすることが多かったようですが、不用意に抜くのは避けたいものです。現在では、三種類くらいの治療法があります。

**【歯周補綴 ほてつ法】**全体にかぶせ物をして、連結する方法です。一本一本ではぐらぐらしてかめない歯でも他の歯と連結することでしっかりします。この方法は、歯が比較的多く残っている場合に適用されます。

## 【コーヌスクローネ法】

これは茶筒の筒の原理を応用した方法です。まず一本一本の歯に内冠という金冠を装着し(①)その上に連結した金冠(②)をかぶせませす(③)。これはブリッジなどとは違ってはめたり外したりできます。更に残っている歯が少ない場合は、入れ歯部分と直接つないでコンパクトな入れ歯にすることができます。

## 【インプラント法】

インプラントは歯が失くなってしまったところに人工の歯根を埋め、再び歯として機能させることが出来ます。この方法は応用範囲が広く前者の方法と組み合わせることも可能です。

いずれにしても、進歩した治療法でかめない悩みを解消し、コンプレックスを幸せに変えてみられてはいかがでしょうか。

## ぺぱーみんと

天高く馬肥ゆる秋です。松茸、秋刀魚等々、美味しい食べ物が沢山出ています。そして、朝晩は過ごし易いになりました。

お布団の恋しい季節到来です。美味しい物をたらふく食べて、暖かいお布団にもぐり込む。毎日こんな幸せな生活ができれば言うことなしとは思いますが、体重計という現実を目前にすると幸せ気分は吹っ飛ばすのでした。

天高く私ぶくぶく肥ゆる秋。ああ、神様、どうして食べ物美味しい季節とお布団の恋しくなる時期を重ねてしまったのですか？私にとつては試練の季節です。(今、後から「夏からずっとよく食べてよく寝てるよ、いつも通りだよ。」という心ない声が聞こえてきた)



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成十五年 九月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には、同封されていません。